

C.COM

広島 生協

平和とより良き生活のために

JUN.2016 VOL.56

広島県生活協同組合連合会

発行 2016年6月10日



オバマ米大統領広島訪問！

折り鶴の願い届け。

「戦争も核兵器もない平和な世界を」

TOPICS

オバマ米大統領広島訪問 1

・「核なき世界」改めて決意

特集：市民の集い 2-4

・情勢報告

「核兵器廃絶に向けた市民社会の役割」

広島平和文化センター

小溝泰義 理事長

・活動報告

「被爆体験伝承活動を通して」

被爆体験伝承者第一期生 保田麻友

・市民の集い・被爆者との交流

報告：熊本地震災害支援報告 5

・災害は予期せぬ時と所で発生

広島県生協連 岡崎 晃 報告

会員だより・トピックス 6

・広島県消費生活課意見交換会

・ユニセフ・ラブウォーク in 因島

・2016ピースアクション in ヒロシマお知らせ

・その他

事務局だより 7・8

・けんこうチャレンジ2016

・特定商取引を法を知ろう⑤

消費者ネット広島

・ニューフェイス紹介

・理事会報告・組織平和委員会報告

・福祉・介護委員会報告

特集：バスク訪問記①

スペイン・バスク訪問 9・10

『日々のことから』 11

広島県地域政策局平和推進

プロジェクト・チーム

下崎正浩 担当課長

・編集室から



折り鶴の願い 大統領にも届いた

被爆地・広島を初めて訪れたオバマ米大統領は、日本中の人々に大きな印象を残した。わずか1時間の広島滞在であったが、大統領は、自分で折った2羽の折り鶴を「サプライズ」の贈り物として日本の児童に手渡した。

(写真:5月29日朝刊 朝日新聞社提供)

TOPICS 2016.05.27



オバマ米大統領の演説(骨子)

▶ 71年前、死が空から降り、世界が変わった。閃光と炎の壁が都市を破壊し、人類が自らを破壊できる手段を手にしたことが示された▶それほど遠くない過去に解き放たれた恐ろしい力に思いをはせ、10万人を超す日本人の男女、数千人の朝鮮人、米国人捕虜を含む死者を悼むため、私たちは広島を訪れる▶1945年8月6日朝の記憶を薄れさせてはいけない。その記憶は道徳的な想像力を刺激し、変化を可能にする▶米国のような核兵器保有国は、恐怖の論理にとらわれず、核兵器なき世界を追求する勇気を持たなければならない▶私たちは、広島・長崎が「核戦争の夜明け」ではなく、道徳心に目覚めた時として知られるような平和な未来を選ぶことが出来る。

「朝日新聞」5月28日朝刊より

厳重な警戒態勢の中、広島市民は広島平和記念公園内に入れないにも関わらず、何時間も前からオバマ大統領の訪問を見ようと公園の周囲を取り囲んだ。



米大統領広島訪問を報道する新聞、(上:中国新聞社提供 5月28日朝刊、下:産経新聞社提供5月28日朝刊)

オバマ米大統領が5月27日夕、米国の現職大統領として初めて被爆地・広島を訪れた。広島訪問は、2009年のチェコでのプラハ演説で訴えた「核なき世界」に向けて取り組む決意を強調したが、一向に進展しない核軍縮を促進させ、米大統領としての仕事の仕上げの目的があった。

オバマ大統領は広島市平和記念公園を訪れ、原爆資料館を訪館し、原爆死没者慰霊碑で献花。献花後、慰霊碑前に招待した被爆者らを前に演説し、「閃光と炎の壁が都市を破壊し、人類が自らを破壊できる手段を手にした。私たちはそう遠くない過去に解き放たれた恐ろしい力に思いをめぐらすために来た」と述べた。

オバマ大統領の広島訪問は、さまざまに取りざたされたが、献花の際の黙祷姿、被爆者と言葉を交わし優しくいたわるテレビカメラの前の情景に、日本中の人々が感謝の手を合わせた。厳重な警備によってオバマ大統領と市民との直接のふれあいはなかったが、わずか1時間の滞在は、残された「折り鶴」とともに、広島市民の心からの願いが叶った刻でもあった。

願いが叶った日!?



2016「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い：情勢報告・活動報告

被爆者の声を世界に…

5月26日に開かれた「戦争も核兵器もない平和な世界を」めざす“市民の集い”。市民6団体が立場や思想信条をこえて結集し、戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けて市民レベルの平和活動を行っています。日時は前後するが、翌27日、広島に原爆を投下した当事国アメリカのオバマ大統領が初めて広島を訪れた。核廃絶の地道な運動の努力が、わずかだが報われた…。

「核兵器廃絶に向けた市民社会の役割」

今日の話の根本は、「如何にして核のない社会を実現するか」ということです。私が1970年に外務省に入り、核兵器のない世界を、と運動を始めた頃は、「空想論だ」と強い非難を受けました。そして、遅々として進まぬ核軍縮。私自身もこの運動に携わって、迫害・脅迫されたことも幾度か。

しかし、ここにきて世界の潮流は変わってきています。核保有国や日本のような核の傘の下にいる国に多くを求めてもどうにもならない。誰のための安全保障か、今のままで国の人民を救うことが出来るのか。国がやらないなら、個々一人一人です。世界を動かすのです。

「被爆体験伝承活動を通して」

私は「被爆体験伝承者」第一期生です。二十代、私は何もしていない普通の市民でしたが、この活動に入った一つのきっかけがありました。

高校時代、たまたま8月6日の灯籠流しを見に行きました。そこで多くの被爆者の方や縁のある方達が一心に灯籠を流し亡くなった人を供養する姿を見て、心から衝撃を受けたのです。それまでは、学校でも平和に関する掲示などを見ても無関心でしたが、灯籠流しを見て、被爆者の代わりに灯籠を流す「ボランティア」に参加しました。そのボランティアで、被爆者の方と直接ふれあい、1対1でいろいろと体験談を聞きました。とくに原爆の体験談は、私の心を凍らせました。そして、大学に入って、被爆伝承者に応募第一期生に。残念なことに若い伝承者の多くが、広島県外の人でした。伝承では、史実を曲げてはいけない、正確な数値をと心がけていますが、なかなか同世代の人達に関心を持っていただけなのが残念です。伝承者は体験をしていないのですが、被爆した方の話はリアリティにあふれています。そのリアリティをそのまま皆さんに伝えられるような伝承が出来ればと。そして、「デイベート」が出来る伝承者になりたいと思います。



情勢報告
「核兵器廃絶に向けた市民社会の役割」
(公財) 広島平和文化センター
小溝 泰義 理事長



活動報告
「被爆体験伝承活動を通して」
被爆体験伝承者第一期生
保田 麻友



挨拶する 松井一實 広島市長



挨拶する 高垣広徳 広島県副知事



主催者を代表して挨拶する岡村会長理事

市民の集い 思いを語り、 その心を受け止めて…



被爆者の証言を聞く（証言者：白石多美子さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：清水弘士さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：箕牧智之さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：吉岡幸雄さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：佐久間邦彦さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：曾根薫さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：高東征二さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：川崎巳代治さん）



被爆者の証言を聞く（証言者：大越和郎さん）

「5月27日、オバマ米大統領
広島訪問」というビッグな報道
後、大統領訪問の前日5月26日
午前10時、2016「戦争も核
兵器もない平和な世界を」市民
の集いが、広島国際会議場で開
催されました。
虹のコーラスの歌声が流れる

交流終了後、「市民6団体の
アピール」が代表者から読み上
げられ、主催者の閉会の挨拶で
市民の集いは閉会しました。

式典に続き、小溝理事長の「情
勢報告・保田さんの「活動報告」
（前頁参照）がなされました。
続いて、テレビ報道各社ス
タッフが詰めかけた会場にいつ
ぱいに並べられた丸テーブル。
10名の被爆証言者がそれぞれの
テーブルに着き、7・8名の傍
聴者が同席し、証言者の言葉に
耳を傾けました。被爆証言者の
とつとつと語る声が、会場に静
かに響き、場内は厳かな雰囲気
に包まれました。

中、司会者の開会を告げる声
とともに、主催する市民6団体
を代表して広島県生協連岡村信
秀会長理事の挨拶が始まりました。
続いて来賓を代表して、高
垣広徳広島県副知事、松井一實
広島市長の挨拶があり、司会者
から出席した来賓を紹介。その
後で、来賓のみなさんが退場し
て式典は終了しました。



被爆者の証言を聞く（証言者：坪井直さん）



【実行委員会構成市民 6 団体】

広島県原爆被害者団体協議会
 広島県原爆被害者団体協議会
 広島県地域女性団体連絡協議会
 (公財) 広島 YMCA
 広島県青年連合会
 広島県生活協同組合連合会



核兵器廃絶「市民の集い」6 団体の集会を知らせる新聞記事(5月27日朝刊 中国新聞社提供)

2016「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い アピール

1945 年広島市の上空に飛来した B 29 爆撃機エノラゲイから投下された一発の原子爆弾(リトルボーイ)は広島を破壊しつくしました。かろうじて一命を取り留め今日まで生き抜いてきた被爆者の平均年齢は 80 歳を超えています。「あの惨劇を二度と繰り返してはいけぬ、誰にも同じ思いをさせてはいけぬ」この言葉は、被爆 71 年を迎える被爆者の切なる願いです。

2015 年核不拡散条約(NPT)再検討会議は、最終文書を合意採択できずに終了しました。議論の過程では、被爆者の悲惨な被爆証言に耳を傾けた多くの国が、人類存亡の脅威として核兵器の非人道性やその廃絶に向けた法的枠組みの必要性を認識し、現在国連の公開作業部会では「核兵器のない世界」の実現に向けた協議が続いています。しかし、世界には、未だ 15000 発を超える核兵器が存在し、核保有国並びにその核の傘に入っている国々は、核兵器を抑止力とし、段階的な削減と言い、事実上、核兵器の脅威はそのままの状態にあることは極めて遺憾です。

そのような中、4 月には G 7 (主要 7 か国) 広島外相会合が開催されました。原爆投下後、初めて核保有国の現職外相が被爆地を訪問し、被爆の実相に触れたことは、意義あることです。しかし「広島宣言」において、核兵器の非人道性について言及されなかった事は、大変残念でした。

明日、オバマ大統領がヒロシマを訪れます。現職の米国大統領の被爆地訪問は歴史的な出来事であり、被爆 71 年目を迎えるヒロシマから、改めて「核兵器のない世界」の実現へ、力強いメッセージが世界に向けて発信されることを期待します。

本日、ここに集った私たちは、「戦争も核兵器もない平和な世界の実現」を皆さんと誓い合い、以下のことをアピールしたいと思います。

1. 私たちは、核兵器保有国が、ただちに核兵器の実戦配備を解除し、核兵器廃絶に向けた取り組みを進めることを求めます。
1. 私たちは、戦争も核兵器もない平和な世界の実現を願い、思想信条を超えて世界の恒久平和のために取り組みを進めます。
1. 私たちは、世界の指導者を含めた多くの人々が広島、長崎を訪問し、被爆の実相に触れ、核兵器の非人道性と平和の尊さを学ぶ機会が持てるよう取り組みます。
1. 私たちは、核兵器廃絶に向けて活動してこられた被爆者の思いを大切に、次世代につなげるように力を合わせた取り組みを継続します。

2016 年 5 月 26 日
 「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い
 実行委員会構成市民 6 団体

熊本地震災害支援報告

災害は予期せぬ時と所で発生



益城町内の被害状況

4月14日夜と16日未明を中心に発生し、大きな被害を出している熊本地震。東日本大震災で被災し、地震の心配が無い所と思って住んでいた熊本で再度被災した人が居ます。2014年8月20日未明の広島のと砂災害も予期しない豪雨による大被害でした。

日本国内に住んでいる以上、災害の危険を絶えず認識し、準備をしておかなくてはなりません。が、ひとたび災害が発生したら、その支援に全力で取り組んでいく必要があります。

今回の熊本地震に際しては、現地生協からの支援要請をはじめ、厚生労働省や自治体からの

支援要請もある中、全国の生協では人的な支援や、緊急物資の輸送、義捐金、支援金を組合員に募るなど、多彩な支援行動に取り組んでいます。

広島県生協連とその会員生協でも、積極的な支援を行っています。ここでは、日本生協連の呼びかけによる高齢者・障がい者支援活動に広島県生協から参加した活動の一端を紹介します。



生協ひろしま福祉事業部から3名の職員が支援に参加。5泊6日の日程で、現地の支援に参加しました。

また、広島県生協連からは1名（岡崎）が現地コーディネーターの活動に参加しました。

〔支援先と主な支援内容〕

① 益城町総合体育館の避難所で、高齢者など入浴や食事受け取り等に手助けが必要な方への入浴の介助、見守り等の支援に1チーム2～4名が4日ずつ活動。

② 益城町内の特別養護老人ホーム（ひろやす荘）では、通常の入居者に加え向かいの老健施設が被災した為の入居者を受け入れ、更に町内の一般の避難者を受け入れ。一方、職員自体

が家を失う等で被災しており、介護職員の応援が喫緊の課題です。ここに、生協の介護職員が2名から3名、交代で応援に入ります。

③ 熊本市内の障害者の福祉避難所の運営スタッフとして2名から4名が、日中活動への応援や入浴介助を行っています。

【報告】 広島県生協連 岡崎晃

【広島県生協連と会員生協の主な支援活動】
(5月31日現在)

- ・広島県からの要請で緊急支援物資（コモパン等）を福山港から船で熊本へ輸送（広島県生協連）
 - ・厚生労働省から日本生協連への要請「緊急物資の早期配送等に関する支援について」（ボランティア派遣）に応じて、コープCSネットから職員5名を現地に派遣（内：生協ひろしま2名）
 - ・組合員への緊急募金…生協ひろしま（約3,100万円）、他会員生協も取組中
 - ・高齢者・障がい者支援での介護人材派遣（生協ひろしま3名、広島中央保健生協1名、広島県生協連1名）
- ※他に、医療生協関係のルートで、広島医療生協、広島中央保健生協が、医師、看護師等の医療職や、医療相談員、事務職等を現地に派遣。



益城町総合体育館避難所に自衛隊が設置したお風呂／生協の職員が手助けが必要な方へ支援を行っている



生協は日常の生活物資を組合員と被災者に確実に届けています



益城町総合体育館避難所の高齢者入浴支援に入った生協ひろしまの岡由香利さん（右側）／（左側）はコープあいちの介護職員

広島県消費生活課意見交換会 ユニセフ・ラブウォーク in 因島 お知らせ

**消費者教育の推進に係る意見交換会を開催
だまされないうために、みんなで学ぼう、つながりを大事にしよう！**



意見交換会の様子

広島県生協連が事務局を務める広島県消費者団体連絡協議会（以下、広島県消団連）は、5月25日、広島県環境県民局消費生活課が主催した、消費者教育の推進に係る意見交換会に出席し、広島県や他団体と消費者教育の取組について交流した。

広島県からは、小寺洋県民生活部長、今井洋消費生活課課長他5名が出席。参加団体は、広島県消団連構成団体（広島県生協連、広島消費者協会、呉市消費者協議会、JA広島県女性組織協議会、廿日市市消費者協会、消費者ネット広島、他、広島弁護士会、広島司法書士会、広島県金融広報委員会、広島労働会館、広島県社会福祉協議会）が出席した。

広島県から消費者基本計画（第2次）の重点項目である「高

齢者・若者の消費者被害防止」「消費者被害防止に向けた消費者教育の推進」について説明があり、参加団体から取組紹介を行い、その後意見交換を行った。主な内容は、消費生活課が推進する学校での消費者被害防止に関する教育について、出前教育に長年取り組んでいる広島司法書士会、広島県金融広報委員会、広島労働会館から、具体的内容や進め方などの説明があった。広島司法書士会は、高校生向けの法律教室として「契約編」「労働編」で構成し、広島労働会館は高校生向けに目線を下げてわかりやすく講義を行うなど、工夫されている。消費者団体は、高齢者向けが中心であり、身近な事例を題材にした寸劇は好評で、未然に被害防止できた実例も報告されている。課題は若い世代への教育である。

地域で消費者被害防止に取り組むには、つながりを大事にして、行政や地域社協との連携、消費者ネット広島やJA等のネットワークを使って取り組むことが大切。広島県にもご協力と、ご指導をいただきながら、参加した団体が連携を強めて、広島県全体で消費者教育、消費者被害防止に取り組んでいくことを確認して意見交換会を終了した。（広島県生協連・福島守

ユニセフ・ラブウォーク in 因島

平成28年5月15日（日）に、今年もラブウォーク in 因島を開催しました。参加費がユニセフ募金となり、開発途上国の子どもたちの健康に役立てられる、ユニセフ・ラブウォーク。当日は、各地区においてグラウンド・ゴルフ大会や町民運動会等地域行事が集う中、34名（内子供5名）の組合員さんの参加をいただき、無事終える事が出来ました。

ラブウォークと募金に参加を

頂きました皆様のお陰で総額1万4248円の募金が集まりました。この募金は、広島県ユニセフ協会へ送らせて頂きます。ご協力有難う御座いました。ユニセフ協会では、すべての子どもが健やかに成長できる世界、子どもたちの夢と未来を守るために、教育、保健、栄養、水と衛生、保護、緊急救援などの支援活動を続けています。こうしたユニセフの活動を支えているのは、民間からの募金です。

私たちも、ラブ

ウォーク in 因島のイベントへ1人でも多くの方々にご参加いただき、微力ながら支援を続けて行きたいと思っています。皆様のご協力をお願い致します。

日立造船
因島生活協同組合
家庭会平和活動
グループより



2016 ピースアクション in ヒロシマ

テーマ：「ヒロシマの心を次世代のあなたへ」～学び・知り・伝える～
71年前のきのこ雲の下での出来事や被爆者の想い、核兵器の非人道性、核兵器をめぐる世界の情勢やさまざまな人が取り組んでいる平和の活動について知り、考えや想いを交流します。

虹のひろば

■日時：2016年8月5日（金）13：10～16：20（開場 12：30）

■会場：広島県立総合体育館 グリーンアリーナ（入場無料）

※誰でも参加できます

主催：日本生協連 / 広島県生協連

第1部 虹のステージ

●オープニング「文教太鼓 葵」

●被爆者・若者からのメッセージ

第2部 みんなのひろば

さまざまな角度から平和を考え、交流するひろばです

●書道ガール 大書パフォーマンス

●爪楊枝アート「原爆ドーム」の展示など

第3部 フィナーレ

●全国から参加した子ども達が、子ども平和会議の報告と平和のアピール文を発信します。

●虹の合唱団と平和を願い歌いましょう。

告知：けんこうチャレンジ2016 特定商取引法を知ろう⑤

見直そう健康習慣！～けんこうチャレンジ2016～

けんこうチャレンジ

期 間 大人…9月～10月の2ヶ月間
キッズチャレンジ…7月～10月
のうち30日間

申込締切 大人…2016年8月31日
キッズチャレンジは9月30日

報告締切 2016年11月30日

※報告カードを提出いただいた方には修了記念品をさしあげます。
(広島中央保健生協 高野 雄史)



最近、「健康寿命」という言葉をよく耳にされませんか？健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と言われています。日本は長寿世界一と言われていますが、国民の関心は健康寿命を延ばしていく取り組み、いわゆる「健康づくり」へ移ってきています。

昨年に引き続き、広島県生協連の主催で「けんこうチャレンジ」に取り組みます。チャレンジコースは充実の11コースになりました。期間中、「食事・運動・お口」のことについて楽しく学べる催しも開催します。

チャレンジコースを選び、具体的なチャレンジ内容と目標は自分で決めていきますので、子どもから大人まで、どなたでも参加できます。家族や友人、職場の人たちを誘って一緒に取り組んでみませんか。一人で続けるのは難しくても、家族や仲間と励まし合いながらの2カ月間（こどもは30回）はあっという間です。チャレンジを通じて健康習慣を見直してみませんか！



【お問い合わせ先】

広島医療生活協同組合

広島県広島市安佐南区中須2丁目19-6
TEL：082-879-8124
FAX：082-879-8182

広島中央保健生活協同組合

広島市西区観音町16-19
TEL：082-532-1264
FAX：082-532-1267

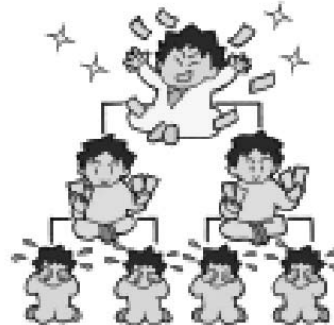
福山医療生活協同組合

福山市木之庄町2-7-2
TEL：084-973-2280
FAX：084-926-3080

消費者ネット広島

特定商取引法を知ろう⑤

『連鎖販売取引について』



連鎖販売取引とは、個人を販売員として勧誘し、さらに次の販売員を勧誘させるといったかたちで、販売組織を連鎖的に拡大して行う商品・役務（サービス）の取引のこと、いわゆるマルチ商法です。

この商法は、家族・友人など縁故を頼って勧誘するため、人間関係を損なう可能性が高く、儲かっている人は組織のトップのごく一部であり、その他大多数は出費した金額まで回収できないのが現状です。

連鎖販売取引では、「氏名等の明示」「禁止行為」「書面交付」「広告の表示」「誇大広告の禁止」等について細かな規制があります。

契約書面を受け取った日又は

再販売のために購入した商品の受け渡しを受けた日のいずれか遅い日から20日間以内であれば、クーリング・オフができ、組織に入会して1年以内の消費者が退会する場合には、引渡しを受けてから90日以内の未使用の商品であれば、その商品を返品し、適正な額（＝概ね90%相当）を返金してもらえます、中途解約・返品ルールもあります。

連鎖販売取引自体は違法ではありませんが、ビジネスに不慣れた大学生や主婦などが巧みな勧誘を受けトラブルに巻き込まれる例が増加しています。友人知人を勧誘する仕組みのため、被害者が加害者になってしまいうことになる等、問題の多い商法です。（消費者ネット広島・宗山 隆幸）

理事会報告 福祉・介護委員会報告 組織平和委員会報告



藤代 えり

第6回理事会報告

第6回理事会議事録

開催日 4月21日

場所

広島県生協連3階会議室

出席 理事16名中13名出席、監事2名中1名出席

(出席理事) 岡村、高田、盛合、岡野、岡、吉山、武田、斉藤、近江、金築、長谷川、戸田、門田

議決事項

以下の項目について資料に基づき提案説明を行い、全員異議なく承認決定した。

(第1号議案) 2016年度通常総会について

1 2015年度決算報告と剰余金処分案及び監査報告について

2 2016年度活動方針について

3 2016年度収支予算(案)について

4 通常総会の運営・役割・スケジュールについて

5 総会での役割分担(第2号議案) 他団体の公職承認の件

1 広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会委員

報告事項

各事項について資料に基づき

説明を行い、全事項について確認した。

(第3号議案) 一般活動報告

1 2016年度広島県生協連組織体制について

2 医療・購買生協の共同事業化について

3 平和関連活動について

(1) 2016戦争も核兵器もない平和な世界を市民のつどいの開催について

(2) 2016ピースアクションinヒロシマ実行委員会報告

4 監事研修会の開催について

5 委員会・審議会報告(組織平和委員会、福祉・介護委員会等)

6 けんこうチャレンジ2016実行委員会報告

7 電力小売自由化学習会報告

8 介護戦略セミナー報告

9 介護職員スキルアップ研修報告

10 協同組合学習会(HJC)報告

11 2016年初級職員研修会報告

12 2016年度自治体の新地域支援事業状況の情報収集について

第1回福祉・介護委員会報告

第1回福祉・介護委員会議事録

開催日 5月12日

場所

広島県生協連3階会議室

出席 盛合、志々目(広島中央保健)、斉藤、山本(広島医療)、乃美(福山医療)、横山、徳永、西谷(ひろしま)、岡崎、藤代(広島県生協連)

報告・協議事項

1 2016年度活動方針及び

3 生協共同事業化の重点課題について

2 新地域支援事業への対応状況について

3 会員生協2015年度決算・総括と2016年度方針、計画予算について

4 広島県健康福祉局長懇談会の実施について

5 その他

第1回組織平和委員会報告

第1回組織平和委員会議事録

日時 2016年2月26日

場所

広島県生協連3階会議室

出席 越智(日立造船因島、佃(広島県立学校、田中(広島中央保健)、山根(広島医療生協)、檀浦(高校生協、宮澤(福山医療生協)、上田、草野、森島(ひろしま)、高田、福島、為政(広島県生協連)、虫本、上田(日本生協連)

報告・協議事項

1 広島県生協連2016年度活動方針(案)について

2 2016年度平和活動について

3 わが家の電力・ガス料金しらべ調査について



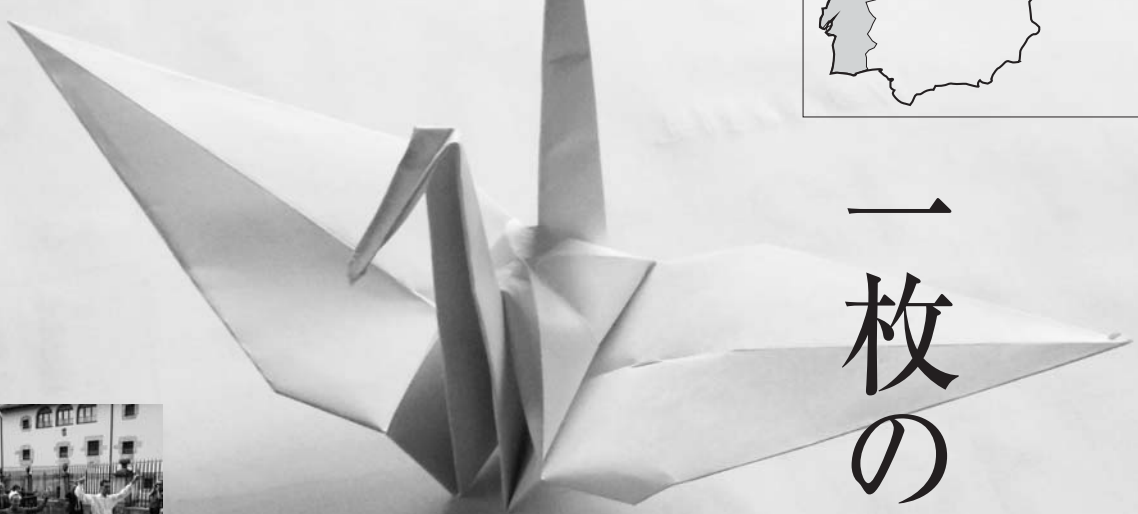
特集

バスク訪問記①



一枚の折り鶴が

平和の橋を架けて…



日本からの代表団を歓迎する歓迎の舞



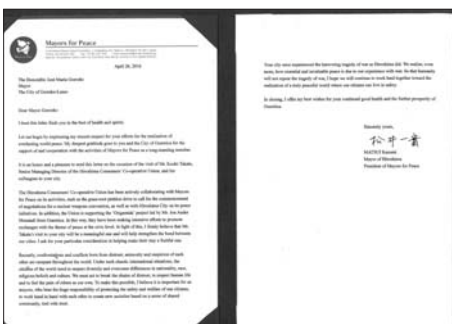
「親書」を手渡すの地関係者一同で記念撮影



広島市長の「親書」を手渡す高田専務理事



芳名録に記載する高田専務



ゲルニカ市に届けられた広島市長の「親書」

イン・バスコ出身のフランシスコ・ザビエル。彼はその後、日本滞在の約2年の間に広くキリスト教を布教し、日本国内に多くのキリスト教信者を生んだ。時は経て2015年3月、ザビエルと同じバスコの一人の若者が広島県生協連を人づてに訪ね

一人のバスコの若者との出会い。約500年前の1549年、ポルトガル王ジョアン3世の依頼で、一人のイエズス会宣教師が日本の薩摩半島坊津に上陸した。日本が西洋文化の光に初めて照らされた歴史的出来事であった。その宣教師の名はスベ

広島市長の「親書」を携えて…

てきた。若者の名はジョン・アンダー・ムサエル、スペインモントラゴン大学の学生起業家である。彼は、大学の授業の一環として、世界の旅を通じて様々なことを学び、国際的な起業家をめざしている。

ジョンが、世界で初めて原爆

を投下された広島市を訪れたのは、彼の生まれ故郷がゲルニカ・ルモ市であったことによる。ゲルニカ・ルモ市は、1937年

4月26日、スペイン内戦で、フランシスコ・フランコ將軍の援助を受けたドイツ空軍による人類最初の無差別爆撃を受けた。空爆により、ゲルニカの町は瓦礫の山と化し、約2,000名の無辜の市民が死傷したという歴史をもっている。この歴史的出来事は、20世紀の天才画家パブロ・ピカソの大作『ゲルニカ』によって、世界中の人々に知られている。

ジョンは、そうした戦争被害を継承するゲルニカ・ルモ市民の一人である。彼は、2015年のヒロシマ訪問の

スペイン・バスク訪問記

▶次号に続く



フランシスコ・ザビエル肖像
『ウィキペディア (Wikipedia)』より

フランシスコ・ザビエル

1506年頃、4月7日、フランシスコ・ザビエルは、スペインのバスク地方ナバラ王国のパンブローナに近いハビエル城で生まれる。1525年、19歳で名門パリ大学に留学。その後、バスクから来たイグナチオ・ロヨラと知り合い、ロヨラの強い影響によって、1534年8月15日、パリモンマルトルの聖堂において6名の同士とともに神に生涯を捧げるという誓いを立てイエズス会を創立する。当初より世界宣教をテーマにしていたザビエル達のイエズス会は、ポルトガル王ジョアン3世の依頼でインドのゴアに派遣され、その後1549年に薩摩半島の坊津に上陸し、日本に初めてキリスト教を伝え西洋文化の光を差し込んだ。その後、約2年間にわたって日本国内で布教活動を行ったフランシスコ・ザビエルは、インドのゴアに戻る。その後、中国の上川島に行き、布教の為に中国に入境しようとするがうまく行かず、病を発症し上川島で死去。46歳であった。

ゲルニカールモ市 (Gernika-Lumo) とピカソの『ゲルニカ』スペイン・バスク州ビスカヤ県のムニシピオ (基礎自治体)。ゲルニカとルモが連合して一つの自治体を形成している。スペインは第一次世界大戦後の混乱で民衆の不満が高まり、1931年に無血革命の形で共和制に移行。1936年共産主義政

党の国際コミンテルンの暗躍により社会主義政党「スペイン人民戦線」が政権を握ったが、保守派と共産主義の対立、政治的混乱や治安の悪化が納まらない状況にあった。

こうした状況の中、国内の保守派が結束を強め、カナリア諸島へ島流しにされていたフランシスコ・フランコ将軍がクーデターを起こす。これに、軍部や地主、カトリック勢力などの保守派が次々に呼応し、社会主義政府に対して大規模な反乱を起こした。スペイン内戦の勃発である。

スペイン内戦中の1937年4月26日、フランシスコ・フランコ等の反乱軍による北方作戦の一環として軍事目標を有するゲルニカ爆撃が行われた。反乱軍は、3月末からゲルニカ地方の制圧にかかっており、ドイツ空軍遠征隊であるコンドル軍団の爆撃隊がその支援として空襲を行った。

ゲルニカ爆撃が、アメリカ、イギリスフランスなどの報道機関によって伝えられると、フランコ反乱軍を非難する声が世界的に巻き起こった。これに危機感を持ったフランコやコンドル軍団指揮官等は、「ゲルニカで都市を破壊し、子どもや尼僧まで殺傷したのは、我々に敵対するバスク民族主義者やアナーキストの犯行で、ゲルニカ爆撃は捏造である」という謀略宣伝に努める。画家のパブロ・ピカソはパリ万国博覧会のための壁画を依頼されていたが、急速、壁画のテーマ内容を変更して、ゲルニカ爆撃に対する憤怒を込めて大作『ゲルニカ』を描き上げた。

参考文献: art-library.com



石段が多いゲルニカ市内の一風景



ジョン氏とゲルニカ市内を散策する一行

数度の広島訪問でジョン氏の松井広島市長の表敬訪問もあって、ゲルニカ・ルモ市と広島市との平和の絆は一層強くなった。その結果、2016年5月、広島県生活協同組合連合会は、ジョン・アンダー・ムサエル氏の招請によって、スペイン・バ

スク地方にあるスペイン最大の協同組合であるモンドラゴン協同組合グループとゲルニカ・ルモ市を、広島市長の「親書」とともに訪問することとなった。

スペイン・バスク地方

バスク人は、独自の言語(バスク語)を持ち、古くからスペインとフランスの境バスク地方として知られる地域に居住している人々たちである。バスク語は「言語の7不思議」の一つとい

われている。悪魔が、バスクの娘を誑かそうとしてバスクの国に7年間滞在したが、覚えられたバスク語は「はい」Bas.と「いいえ」No.だけだった、というジョークがあるほど難解だと言われている。

広島県生活協同組合連合会事務理事

バスク訪問記 執筆・高田公喜

代表されるスペイン有数のワインの産地でもある。そのワインに合う料理が、美食のまちとして、サンセバスチャンを有名にしている。(続く)

われている。

バスクは「山バスク」と「海バスク」とに一般的に区分される。スペイン側にはバスク州の3県とナバラ州の計4領域があり、フランス側にはフランス領バスクの3領域がある。

海バスクは、中世より大西洋を漁場とするタラ漁や捕鯨が盛んな地域である。海の糧は、バスクの郷土料理として広く家庭の食卓に上る。また、リオハに



ゲルニカ平和博物館の展示に見入る一行



ゲルニカ平和博物館のゲルニカ(レプリカ)の前で記念写真



ゲルニカ市内風景

日々のことから

広島県地域政策局平和推進
プロジェクト・チーム 担当課長

下崎 正浩

しもぎき まさひろ

昭和62年広島県庁入庁。地域振興、豊
栄町派遣、大学改革、交流定住、市町財
政、広島市平和推進課派遣等の仕事を
経て、平成26年度から平和推進プロジェ
クト・チーム。平成27年4月から現職。「国際平和拠点ひろしま構想」
の実現を目指して

～オバマ米国大統領の広島訪問に接して～

オバマ大統領の広島訪問

「71年前のよく晴れた雲のない朝、空から死が降ってきて世界は変わった。」オバマ大統領の17分間にも及ぶ演説は始まりました。核兵器国の現職の首脳として初めてとなる大統領の広島訪問を、皆さんは、どのように見て、どのように聞き、そして、どのように感じられましたでしょうか。

政治指導者の被爆地訪問

核兵器の廃絶に向けては、核兵器の非人道性について、各国の政治指導者に深く認識いただくことが重要です。各国の政治指導者が、広島・長崎を訪れ、被爆の実相に触れるということは、大変意義深いことであると考えています。知事が、昨年のNPT運用検討会議に参加するため米国を訪問した際、核政策の決定に影響力のある人々と幅広く会談し、オバマ大統領の広島訪問を働きかけました。また、中国が、会議で政治指導者の被爆地訪問に反発した際は、広島県の考え方を説明するため、駐日中華人民共和国大使館を訪問しました。

広島県の取組

広島県では、平成23年に策定した「国際平和拠点ひろしま構想」に基づき、「核兵器廃絶」と「復興・平和構築」の取組を包括的に進めています。具体的には、広島

から核兵器廃絶のメッセージを世界に発信するとともに、東アジア地域の核軍縮・軍備管理に焦点を当てた多国間協議を行う「ひろしまラウンドテーブル」の開催や核軍縮等に関する各国の取組状況を取りまとめた「ひろしまレポート」の作成・公表などに取り組んでいます。また、復興・平和構築のための人材育成と研究集積を拡大するため、広島市の復興プロセス研究のとりまとめや成果の活用、ユニタール広島事務所・JICA中国・県内大学などと連携した取組などを進めています。

オバマ大統領の広島訪問を契機に、さらに発信力を強化するための新しい取組も始めています。国際平和に貢献できる人材を育成するため、本年8月から高校生等を対象に開講する「グローバル未来塾inひろしま」、海外と県内の中・高校生及び留学生が国際平和について議論し、平和のメッセージを世界へ発信する「ひろしまジュニア国際フォーラム」です。また、平和に関する拠点性の向上を図るため、国内外の経済人による「国際平和のための世界経済人会議」を10月に開催します。会議には、現代マーケティングの第一人者であるフリップ・コトラー教授をお迎えし、世界初となる、企業活動の一環としてのマーケティングによる平和構築の取組の促進について議論します。

広島県生活協同組合連合会について

核兵器のない平和な世界の実現には、言うまでもなく、広島県や広島市はもちろん、国、各種団体、経済界、市民の皆様などあらゆる主体が力を合わせ、連携し、継続的に取り組むことが必要です。広島県生活協同組合連合会の皆様

国際平和拠点を目指して

オバマ大統領の演説は、「広島と長崎は、核戦争の夜明けとしてではなく、我々の道義的な目覚めの始まりとして記憶されるだろう。」こう結ばれています。

大統領の広島訪問が実現した今、世界が広島に注目しています。広島は、人類の叡智を結集し、世界の平和を実現していくための拠点、国際平和拠点にならなければなりません。広島が国際平和拠点として、核兵器のない平和な世界の実現に貢献できるよう、一歩一歩着実に取組を進めてまいります。「共に、平和を広め核兵器のない世界を追及する勇気を持ちましょう」（広島平和記念資料館芳名録へのオバマ大統領の記帳より）その先にある未来を子どもたちに届けるために。

【編集室から】

2009年のチェコでのプラハ演説で「核なき世界」に向けて取り組む決意を訴え、ノーベル平和賞を受賞したオバマ大統領。しかし、北朝鮮の核実験、イラクやシリアでのISの台頭、ロシアのクリミア半島併合、南沙諸島問題と、世界平和を脅かす出来事が続き、核廃絶の道は遠い▼そうした中で、オバマ大統領の広島訪問。訪問は、オバマ大統領自身の、米大統領としての仕事の歴史的指標にするの感否めなない。また、世評も様々に取りざたされた。広島でも、被爆者を含め多くの市民から「お詫びを」とか「お詫びはいい」といった声が飛び交った▼だが、米オバマ大統領は広島を訪れた。超厳戒態勢の中での約1時間の来訪であったが、とにかく、世界最強の軍力と核兵器を保有するアメリカ大統領が、史上初めて人に対して核爆弾を破壊させた広島市平和記念公園を訪れ、全世界に向けて演説した▼「何をか言わん」の声も相当あった。だが、被爆者と声を交わし優しく包容する姿、広島の子どもに残した2羽の折り鶴、オバマ大統領の人としての心、を、私たちが信じるのが平和に繋がる道では……。 (Y)

平和とよりよき生活をめざして



広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11
第7ウエノヤビル5F
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100
E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL: http://hiroshima.kenren-coop.jp